

1.Windows 10 最新情報

新バージョン「May 2021 Update」登場

2.マイクロソフトが Windows11 を発表

Windows10 なぜ最後じゃなかったの!?

Windows 10のときと同じように、Windows 11の動作要件を満たした対象PCを無料でアップグレードする施策が取られ、同社はシステムの最小要件を公開した。



これが次世代のウィンドウ

ズ「Windows11」の姿だ!!

1.Windows10 最新情報バージョン「21H1」登場

マイクロソフトは令和3年5月19日 Windows10 の大型アップデート「May 2021 update」(メイ 2021 アップデート)の提供を始めた。May 2021 update のバージョン番号は「21H1」。2021 年の上半期 (H1) に提供が開始されたことを意味します。以前はアップデートの始まった西暦 (下 2 桁) と月を組み合わせた数字であったが、2020 年 10 月公開の「20H2」以降、このような表記法が採用されることになった。

春と秋の年 2 回、大型アップデートが公開

一般公開	名称	バージョン	主な改良点
2019 年 5 月	May 2019 Update	1903	
2019 年 11 月	November 2019 Update	1909	
2020 年 5 月	May 2020 Update	2004	Cortana がアプリとして独立
2020 年 10 月	October 2020 Update	20H2	Edge の機能追加
2021 年 5 月	May 2021 Update	21H1	顔認証カメラの向上

1. Windows10「21H1」の認証機能

「ウインドウズハロー」に対応する顔認証機能付カメラの使い勝手が向上したことである。

2. 二つ目は,Pro 版以上が備えるセキュリティ機能の一つ「分離されたブラウザ」のパフォーマンス向上である。

3. 組織向けの管理機能について、リモートワークを想定した性能を向上させることである。

このたびの「機能更新」は、個人ユーザでは、小さい更新でありあせってインストールことはないようである。ただし、バージョン「1909」以前のユーザは、サポートが終了しているので早く最新バージョンにして下さい。

通常のアปเดตと大型アปเดตの違い

	通常 Update (品質更新プログラム)	大型 Update (機能更新)
更新の目的	不具合の修正やセキュリティ上の解消	機能の強化や大幅改善
タイミング	1 月に 1 回「第 2 水曜日」緊急は随時	年 2 回 (春と秋を予定)
ファイルサイズ	小さい	大きい
更新時間	狭い (1 分~2 分)	長い (5 分~30 分)
実行方法	自動更新	手動更新/自動更新※

※メイ 2019 アปเดต以降は自動更新でも勝手にインストールされることはなく、

最初は通知のみ行われる

自分のパソコンのバージョン確認

「設定」 ⇒ 「システム」 ⇒ 「バージョン/詳細情報」をクリックします。

「ウィンドウズアปเดต」から～ 結果。

自分のデスクトップパソコン 「Lenovo V530s」バージョン、「1809」[1903][1909][2004]更新

経て、令和 3 年 7 月 27 日 バージョン[20H2]でした。

この間、アปเดต通知「機能更新」があり、インストールを度々繰り返して

パソコン画面に、以下の文面が現れました。

「こんにちは」

パソコン更新プログラムがあります。パソコン画面に出る。この更新プログラムは、オンライン時ユーザ保護に役立ちます。すべてお任せください。

すべての準備ができていることを確認しています。

更新プログラム構成中電源を切らないでください。

パソコンはシャットダウンする前に、更新プログラム適用するため「数回、再起動します」

予想より時間がかかりました。

約 80 分かかりました。その後、パソコンは通常とおりにもどりました。

Windows10 アップデート方法

1.Windows10 の「設定」画面を利用する方法

準備が整ったパソコンから実行できるようになる。手間が少ない。時々アップデート通知を開いて確認する。「更新プログラムのチェック」を押す。下部に Windows10 「バージョン 21H1 の機能更新プログラム」が表示されれば更新が可能である。ここで、

自分のモバイルノートパソコンのパソコン場合。通知がきてすぐダウンロードして、インストールする。[20H1]に更新されていた。

2. 「ウインドウズアップデート」画面に更新が表示されない場合は、公式サイトで「更新アシスタント」をダウンロードして実行する。

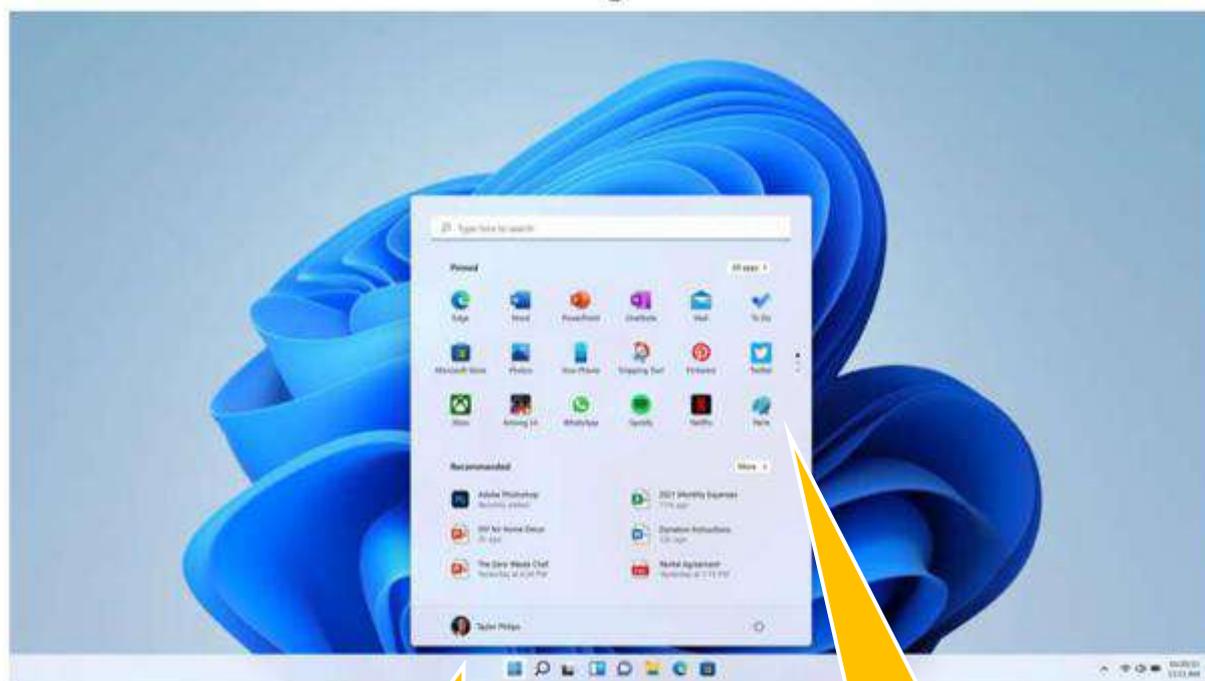
Windows 10 May 2021 Update

<https://www.microsoft.com/ja-jp/software-download/windows10>

ドライバーの相性問題で手動の更新を確認した場合のみインストール可能である。ただ、マイクロソフトは、バージョン 20H2 が動作中のパソコンの一部に対して、試験的に自動更新を始めたようです。今年後半には「21H2」の大型アップデートが予定されているので、そのあと年内には、Windows11（イレブン）無料のアップグレードしたほうが良い。

Windows10 は 2025 年 10 月 14 日まで使えますよ。

2.Windows11 マイクロソフトが発表



© KYODONEWS *マイクロソフトが発表した「Windows11」の画面（同社提供・共有）

ダークモードもあり

スタートボタンやアプリのアイコンはタスクバーの中央した

タイルではなくアイコンが並びシンプルなデザイン

マイクロソフトは6月24日、「Windows11」を今年末には提供できると発表した。画面のデザインやユーザーインターフェースを刷新するほか、Android アプリを動かせるようになるなど新機能も目白押し、「ウィンドウズの新時代を飾る最初のバージョン」である。と新 OS の姿を、
(サティア・ナデラ CEO) 公開発表しました。

Windows10 から、Windows11 へのバージョンアップは無料ですが、パソコンのハードウェア要件が厳しくなり、非対応のパソコンもあるので注意したい。手持ちの対応状況をチェックできるアプリも提供されている。

チェックアプリで対応するかどうか確認

<https://www.microsoft.com/ja-jp/windows/windows-11>

互換性の確認

～からアプリをダウンロードしたファイル

PC の正常性の概要

「今すぐチェック」をクリック

動作条件

この PC で Windows 11 を実行できます
いいお知らせです。この PC は、Windows 11 のシステム要件をすべて満たしています。しかも無料です。インストールの準備が完了したら、お知らせします。

CPU	動作周波数が 1GHz 以上で 2 コア以上の 64 ビット CPU 又は SoC
メモリー	4 GB 以上
ストレージ	64GB 以上
グラフィックス	DirectX 12 以上 (WDDM) 2.0 ドライバー) に対応
システムファームウェア	UEFI、セキュアブート対応
TPM	TPM 2.0 対応

TPM (トランステッド プラットフォーム モジュール) とは、分かりやすく言いますと、セキュリティ強化のチップである。2016/8 月～は 2.0 が入っています。確認の一つは、「設定」からシステム、右端に「関連設定」、デバイスマネージャーをクリック、「セキュリティ デバイス」鍵マークをクリックすると、2.0 がでてきます。もう一つは、「検索」tpm.msc 入力します。(ローカルコンピュータ上の TPM 管理) の画面が現れます。下のほうに、バージョン 2.0 と出ている。

まとめ

9 月例会の当番で発表するテーマ Windows10 の最新情報を調べていたところ、6 月 24 日マイクロソフトが Windows11 イレブンを発表した。新型コロナウイルスで世界経済落ち込んでいる今「テレワーク」は珍しくありません。マイクロソフトはタイミングよく新 OS 発表で益々の発展見込めます。Windows10 は、発売 6 年、随時アップデートをしながら提供する方式で行くものと思っていました。この度、名前を変えるほど大きな刷新である!? 個人ユーザとしては、Windows10 は良いパソコンで困ってはいません。これから、自分はどのように対応するの考えると、3 台ある PC のモバイルノートパソコンはイレブんにアップグレードする。愛機 Windows8/8.1 は 1～2 年後に Windows11 入れ替える。レノボは、「通知が着たら」イレブんにアップグレードすることに決めました。パソコンの世界はこれからも進化します。新機能、新アプリを使いこなして楽しみたいものです。スマホ用の Android アプリをモバイルノートパソコンに (ティットック) 起動して動かしてみたい。5 ページ、イレブンのタスクバー右端に「Tik Tok」のアイコンが縮小して見つらいですがでてきます。 終わり